

2230 | グラフィックデザイン II

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

白尾隆太郎教授、氏家真清講師、石垣貴子講師

授業の概要と目標

グラフィックデザインの集大成として、4 年次ではより高度なデザインを実現する課題として、二つのテーマを取り上げる。

一つはブランディングというテーマである。デザイン、とりわけ商品や広告に関わる分野では、メッセージの対象となる人々の特徴や特質を理解し、的確なデザインを実現するためにリサーチが重要になる。それらを理解し、対象者をイメージしながら具体的なデザインを実現する方法を学ぶ。

二つ目はエディトリアルデザインである。書籍は、人類の長い文化の歴史を紙と文字によって積み重ね、蓄積して来た。近年ではコンピュータの発達によって、デザイナー自身が文章や組版、写真まで関与することができるようになり、そのためさまざまな技量と知識が必要になった。編集とデザインが融合しながら課題を進め、文字や写真や図版を総合できる力を学ぶ。

いずれも 4 年次科目の内容として重要な要素ということが言える。

課題の概要

○通信授業課題「ビジュアル・アイデンティティ」

年齢層別に商品やブランドをリサーチし、ビジュアル・アイデンティティの傾向を分析・考察する。その後リサーチした考察を元に作品を制作する。それらがイメージにどのように作用しているのかを言語化することによって、表象としてのデザインの役割を学習する。

○面接授業課題「エディトリアルデザイン」

「○○を記述する」ということだけが与えられたテーマである。○○にあたる部分を自分で考え、取材し、書籍という形式にまとめる。

授業計画

[通信授業] (1) 年齢層別に開発された商品を構成する要素をリサーチし、その特徴について考察しレポートする。資料と文章をわかりやすくデザインして提出する。

(2) ある年齢層に向けたカルタを制作する。

[面接授業] 書籍（紙面）を制作するにあたり、テーマ、編集方針と計画、デザイン方針と計画、デザインフォーマットなど編集デザインの基本を十分に理解した上で、独自の視点で編集・デザインする。

成績評価の方法

通信課題では、提出された作品の総合評価とする。

面接課題では、発想、制作のプロセス、作品などの総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4 年次

[履修条件] 「グラフィックデザイン基礎 I・II」の単位を修得していること（コミュニケーションデザインコース 3 年次編入学生を除く）。

[備 考] 選択科目ではあるが、コミュニケーションデザインコースの専門科目として、同コースの学生は履修することが望ましい。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：新島実監修『新版 graphic design 視覚伝達デザイン基礎』（武蔵野美術大学出版局 2004 年）

学習指導書：『グラフィックデザイン I・II 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）